

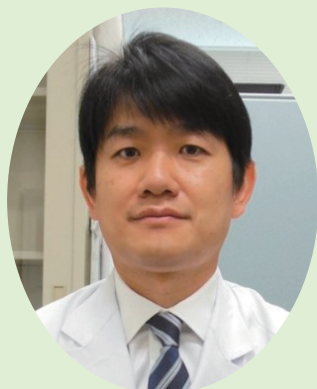


Jichi 地域連携ニュース

- ・診療科長就任挨拶…………… 藤原寛行
- ・自治医科大学附属病院医師同門会について
- ・部長就任挨拶…………… 山田俊幸
- ・FAXによる患者様紹介について

診療科長就任挨拶

自治医科大学産婦人科 科長 藤原 寛行



2020年4月より産婦人科科長に就任致しました藤原寛行です。よろしくお願い申し上げます。

産婦人科は産科、婦人科、生殖内分泌の3分野をカバーしています。大学病院として専門性の高い医療を提供すると同時に、女性全般の疾患に幅広く対応できるように診療体制を整えています。

産科は「合併症を有する妊婦の管理」、「前置胎盤などの産科合併症」、「胎児異常診断・管理」、「遺伝診療」などを広く行っています。分娩数は年間900例で、小児医療センターが隣接されていることから新生児・乳児期に手術が必要となる小児循環器疾患、小児外科疾患、小児脳神経外科疾患などを受け入れることも可能です。

婦人科は主に悪性腫瘍の集学的治療を行っています。卵巣癌、子宮体癌、子宮頸癌などを数多く治療しています。また関連した臨床研究にも積極的に参加しています。近年では婦人科領域でも個別化医療が行われるようになってきており、当科もがんゲノム医療連携病院として拠点病院との連携を行っています。また腹腔鏡やロボット支援下手術などの低侵襲性手術や子宮腺筋症に対する核出術（先進医療）などにも力をいれています。

生殖内分泌は主に不妊症診療、不育症診療を行っています。不妊症の原因が男性にある場合、泌尿器科と連携しながら治療しています。高度な不妊治療である生殖補助医療の件数も多く、難治性の不妊症に対応しています。若年がん患者に対し妊孕性温存を目的とした精子や卵子、受精卵の凍結保存、いわゆる「がん・生殖医療」にも積極的に取り組んでいます。また、思春期外来を設け、思春期女性の諸問題に対するトータルケアを行っています。

簡単に3分野の特徴を紹介いたしましたが、いずれの分野も症例数は大学病院の中では常に上位に数えられています。このactivityが長年維持出来ているのは関連病院をはじめ、周囲の医療機関との連携のお陰とっております。今後も、各々の分野が専門性を高めるべく精進いたしますが、技術のみに走ることなく、「患者さんに寄り添う医療」を常に忘れずにやっていきたいと思っております。また産婦人科を志す若い医師に入局してもらい、優れた産婦人科医を一人でも多く育てることも我々の責務と思っております。今後も栃木県の産婦人科医療が円滑に行われ、更なる発展をするように全力で取り組んでいく所存です。引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い致します。

部長就任挨拶

臨床検査部 部長 山田 俊幸



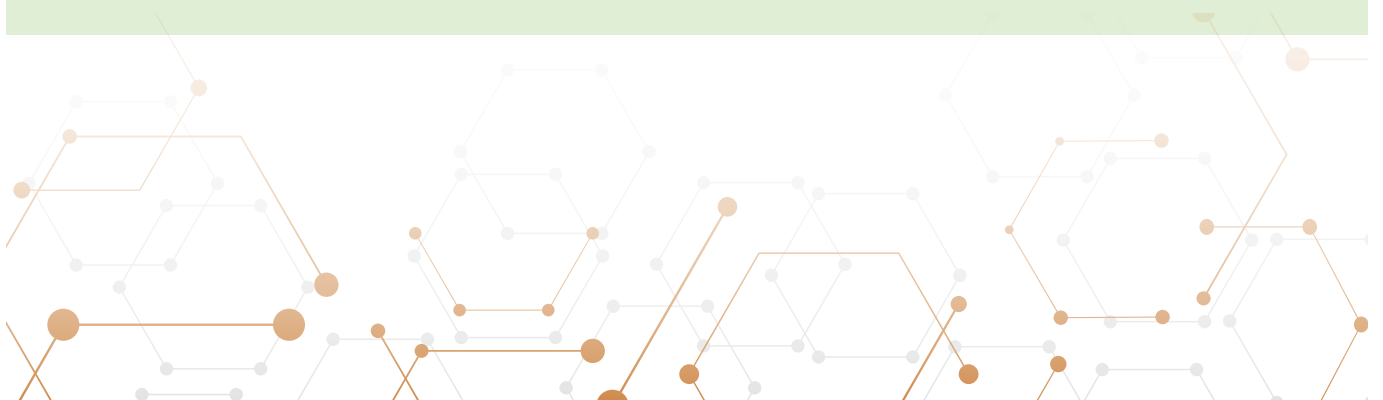
この4月から臨床検査部部長を拝命しました。本学附属病院の検査部は臨床検査界のビッグネームである河合忠先生が初代の部長で、外来採血・超音波検査の中央化を導入してオープンした先駆的な部門です。院内実施検査の種類が多く、私立大学病院の検査部としては高いレベルにあると自負しています。この質を保ち、向上させ、院内診療ならびに地域医療に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

私は臨床検査のうち検体検査が専門で、超音波検査を専門とする前部長の谷口信行先生（臨床検査医学講座教授としてご在任）を補佐してきまして、先生のご退任前に部長に上げていただいたという図式です。よってひとまずは、そんなに大きく変わる（変える）こともないと思っていたところにこのパンデミックでした。ここまで検査数が要求されるとは考えていなかった見込みの甘さを含め、反省すべき点の多い経験になりました。

臨床検査の分野では、平成30年に大きな法改正があり、どんな施設であれ施設内で検体検査を実施する場合は、検査の物品管理、精度管理（努力義務）など質の維持に努めるようにと厳しくなりました。ところが、この騒ぎになり、試薬の承認工程も短縮され、COVID-19の検査を行う場合に限り、登録検査施設の認可ハードルを下げるまでになりました。勿論、この国難といえる状況の中で、検査を拡大することが優先された緊急避難的な施策でした。今後は、あまた世に出てきた検査を整理する必要があります。

このウイルスの検査は、HBs抗原のスクリーニング検査のようにはいかず、採取の際と検体の処理の際の感染リスク、検査技術の習熟、検査時間などの問題があります。これら問題を軽減する簡易で便利な試薬が多く登場しました。ただし、どんな検査であれ信頼できるスタンダードな方法を保持すべきです。このウイルス検査について言えば、ウイルスRNAを適切に抽出し、感染研が定義した定量RT-PCRで検出するのがスタンダードです。このあたりは基礎医学の先生方にもお世話になりました。

COVID-19の検査に振り回されているところ大ですが、この検査に限らずなにかお役に立つことがあれば幸いです。

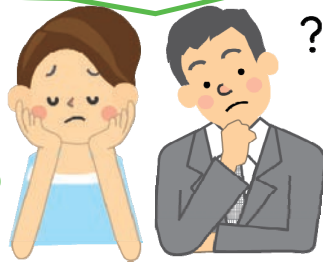


治療をしながら働きたい、 働き続けたい方へ

治療と仕事の両立の仕方について教えてほしい！

通院しながら働きたい！

仕事復帰の不安を解消したい！



自分の病状にあった
仕事を見つけたい！

就職活動で、会社に
病気のことを伝える
べきか迷っている。

～治療と仕事の両立に関する相談会～

在職中・休職中の方

両立支援促進員
(栃木産業保健総合支援センター)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
10:00～13:00

(再)求職中の方

就労ナビゲーター
(ハローワーク宇都宮)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
13:30～15:30

院内で相談が受けられます！
事前のご予約を！

◇方 法：完全予約制*相談希望月の第1火曜日17時までにお申し込み下さい

◇費 用：無料

◇その他：*疾患の種類・県内外住所地は問いません。

*匿名でのご相談もお受けしております。

◇相談実施場所（自治医科大学附属病院内）

患者サポートセンター医療福祉相談室

◇予約連絡先 0285-58-7107（直通）

◇実施機関連絡先

栃木労働局 ハローワーク宇都宮 専門援助部門 電話028-638-0369 部門コード#45

独立行政法人 労働者健康安全機構 栃木産業保健総合支援センター 電話028-643-0685

◇後援：自治医科大学附属病院 患者サポートセンター



自治医科大学附属病院医師同門会について

当病院では、OB医師を中心に「自治医科大学附属病院医師同門会」を組織し、総会・懇親会の開催や会報の発行等を行っております。

入会の条件は、「①自治医科大学附属病院で、医師・歯科医師として勤務経験があること、②同会の趣旨に賛同していただくこと」の2点のみです。会費は3年間で1万円です。

これを機会に是非入会をお勧めいたしますとともに、皆様方の周囲に当病院OB医師がおられるときは、当会の存在をご案内くださいますようお願いいたします。

入会に関する連絡・照会先は次のとおりです。

自治医科大学附属病院 医師同門会事務局（地域医療連携室内） 担当：伊原麻佑、渡辺秀男
TEL 0285-58-7463・0285-58-7461 / FAX 0285-44-5397 / e-mail byoushin3@jichi.ac.jp

FAXによる患者様紹介について

当院では、FAXにより患者様の事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者様の事務手続きにおける待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただけますようご案内いたします。

FAX 事前予約受付（休診日を除く）月曜日から金曜日まで 午前9時～午後3時

受付時間外にお送りいただいた申込書の対応は翌受付時間内での対応となります。

－ご注意－

- ◆ 医療機関以外（患者様本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は、事前に紹介元医療機関から地域医療連携室までご連絡ください。

<FAX 予約のご利用方法>

1. 「紹介状（診療情報提供書）」および「FAX診療予約申込書」を作成し、当院あてにFAX送信してください。FAX診療予約申込書は、当院のホームページ（<http://www.jichi.ac.jp/hospital/>）よりダウンロードできます。
2. 当院では予約をお取りし、「FAX・紹介患者のお知らせ（返信）」と「FAX診療予約申込書」を返信します。
3. 患者様に「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療」予約票をお渡しください。
4. 来院日には、「紹介状（診療情報提供書）」と健康保険証を持参し、医事課・FAX紹介状提示窓口に提示するようご案内をしてください。

